

# 平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

## 【1. 施策名】

施策コード	321-01	基本施策	日常生活の安全性の向上	所管部局	企画政策部・建設部
施策名	交通安全対策の推進			主担当課	交通政策課
				関係部局課	道路課・維持課
施策の目標	市民の交通安全意識の高揚とマナーの向上や交通環境の整備などの安全対策により、交通事故のない安全な社会を目指します。				

## 【2. 施策に取り組む理由】

<p>施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など</p> <p>飲酒運転や信号無視など基本的な交通ルールを無視した交通事故や、高齢者が被害者・加害者となる交通事故が多発しているほか、自転車の不適正運転による交通事故が増加の傾向にあることから、警察や交通関係団体、地域等と連携し、市が積極的に交通安全教育と啓発を推進していく必要がある。 また、道路管理者として、道路使用者が安全に利用できるよう、歩道の整備や危険箇所の安全対策、冬期除雪の確実な実施により、交通事故の抑止を図る必要がある</p>
---

## 【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績					目標値（H28）
			H24	H25	H26	H27	H28	
交通安全教育講習会の年間受講者数	人	8,678	11,122	10,857	/	/	/	10,000
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
市が委嘱する交通安全教育講師により市内各地で開催される交通安全教育講習会への参加者	平成22年度を基準値とし15%増（8,678×1.15≒10,000人）							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績					目標値（H28）
交通事故による年間死亡者数	人	19	14	17	/	/	/	10
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
市内にて発生した交通事故による年間死亡者	平成23年度（H24.2）策定の「第9次長野市交通安全計画」で平成27年度までに11人以下としている。（H23年度目標：15→H27年度目標：11、毎年1名減を目指す。）							
25年度の取組内容実績	市民の交通安全意識の高揚と運転マナー向上のため、各地で開催される交通安全教室へ講師を派遣したほか、警察・交通関係機関等と連携し街頭で指導・啓発を実施した。 小中学校周辺におけるカラー舗装や注意喚起標識の設置、通学路の整備、交通量が多い市内幹線道路等における歩行者等の安全な通行を確保するための整備（歩道新設、拡幅、ガードレール設置、道路照明等）や道路交通の安全確保のための市道法面の保護、路肩の保全等の防災対策施設の整備を実施した。 冬期における市道の機械除雪及び凍結防止剤の散布を実施した。							

## 【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	概ね順調
評価の理由・説明等	
<b>適応性</b> <small>市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか</small>	近年、高齢者の事故が多発しているため、市老連を通じ交通安全教室の開催を呼びかけた。また、自転車の不適正運転による事故が増加傾向にあるため、街頭や学校を通じて適正運転の啓発を積極的に実施するなど、事故の発生状況や傾向等を分析し、情勢の変化に対応した。 危険箇所等の道路環境の整備や道路除雪については、住民ニーズの的確な把握に努めている。
<b>達成度</b> <small>施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか</small>	交通安全教室については目標を達成したが、交通事故の死亡者数は前年比+3人と増加した。しかし、全体の交通事故発生件数では、前年比▲4%と減少し、ここ数年、前年を下回る件数で推移しており、交通事故の抑止へ向け順調に進んでいると考える。 道路環境の整備等については、各地区や住民からの要望に可能な限り応えとともに、道路災害の発生を未然に防ぐ道路防災・除雪施設の整備は年次計画により実施した。
<b>事業の成果等</b> <small>施策を構成する事務事業は目標を達成しているか</small>	事務事業については、「交通安全教育」「放置自転車対策」は目標を達成。「交通事故防止対策」は交通事故の死亡者数で目標を達成できなかったものの、事故発生件数で目標を達成（前年比▲4%）しており、全体として概ね順調に事業を展開している。

【5. 今後の展開】

課 題		課題解決に向けた具体的な取組
1	基本的な交通ルールを無視した交通事故が未だに多いほか、高齢者や自転車利用者の交通事故が増加傾向にあることが懸案となっている。	社会情勢の変化（高齢者人口の増加や携帯電子端末の普及等）が高齢者や自転車の事故を増加させていると考えられるため、高齢者と自転車利用者への啓発活動の強化・充実に努める。
2	予算が減少傾向にある一方、道路の安全対策等の整備要望が多い。	今まで以上に、住民ニーズを的確に判断し真に必要な箇所の整備に努めることで、道路利用者の安全確保を図る。
<b>施策展開の方向性</b> (H26年度以降)		交通事故の発生件数は減少傾向にあるものの、高齢者・自転車利用者の交通事故が増加傾向にあることから、高齢者交通安全モデル地区、自転車安全運転モデル校の指定を通じ、交通安全教育と安全啓発を重点的に進めて行く。 道路施設の整備については、道路の安全で円滑な交通環境の確保と交通事故防止の観点から、可能な限り地区住民の要望に応えるとともに、危険箇所等の事前把握に努め、計画的な整備を実施する。 冬期道路除雪は、今後も迅速かつ適切な実施により、冬期の安全な道路通行の確保に努める。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
1	交通安全教育 [サービス提供事業] 企画政策部交通政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		交通安全関係機関・団体等と連携し交通安全教育・啓発活動を行うほか、親しみながら交通安全について学習してもらう機会として交通安全推進フェアを開催することで、交通安全意識の高揚を図る。					平成25年度、市内各地で交通安全教室が163回開催され、10,857人が参加し目標を上回り、交通事故発生件数も減少した。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	A	A	A	B	B	拡充	15,982	16,162	15,875	19,336	
2	交通事故防止対策 [サービス提供事業] 企画政策部交通政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事故発生状況を分析し街頭指導を行うほか、横断旗の配置やスクールキャップの配布、地区内細街路への白線塗布を実施し安全意識の高揚と交通事故防止を図る。					街頭指導や横断旗の設置等の確実な実施により、交通事故発生件数は減少したが、死亡者数が増加し目標を達成できなかった。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	継続	10,520	10,733	11,175	8,419	
3	放置自転車対策 [サービス提供事業] 企画政策部交通政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		長野駅善光寺口周辺における放置自転車の撤去と自転車の適正利用の啓発により、放置自転車をなくし、歩行者や自転車利用者が安全に通行できるようにする。					全体として駅前周辺での放置自転車は減少したが、ウエストプラザ前及び二線路通りへ放置される自転車が近年目立つ状況にある。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	拡充	5,240	5,740	5,242	5,520	
4	歩道整備事業 [建設・改修整備事業] 建設部道路課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		交通量が多い幹線道路や生活道路の、歩道新設及び、拡幅を行い学童や歩行者などの通行安全を確保する。					平成25年度までに歩道整備は延長3,670m・幅員1.5～3.5m、自転車道は延長1,600m・幅員1.7mの事業をおこない通行安全が確保された。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	A					継続	147,606	154,139	226,537	214,148	

